

△亀之甲山陣城跡 所在地：横浜市港北区新羽町

文明五年（1473）、山内上杉氏の家宰長尾景信が没するやその後継を巡って争いが生じた。関東管領山内頼定と長尾景信の子景春との間でその争いが激しくなると景春は鉢形城に籠った。そして小机城は景春側の南武蔵における拠点として矢野兵庫助が居城したのであったが、それに対抗した上杉頼定方の**太田道灌**は亀之甲山に陣を構えたのである。

文明十年（1478）、小机城は激しい攻撃を受け落城した。



○小机城跡 所在地：横浜市港北区小机町

築城の年代は不明、おそらく十二世紀以降ではないかと思われる。その頃は、このあたりは上杉氏の勢力下にあり、西方には、その支配下の**榎下城**（今回立ち寄り先）があったことから、それとかかわりのある城と思われる。その後、山内上杉家の家臣長尾景春が上杉家家督争いに端を発した反乱の際に、景春に味方した矢野兵庫助らが城にたてこもり、北方の**亀之甲山**に帯陣した上杉方の**太田道灌**の率いる軍と戦い攻め落とされた。

○茅ヶ崎城跡 所在地：横浜市都筑区茅ヶ崎東2丁目、茅ヶ崎城址公園

茅ヶ崎城は14世紀末～15世紀前半に築城されたと推定され、築城には、それぞれの時期に相模・南武蔵を支配した上杉氏（室町時代）や後北条氏（戦国時代）が関与していたと推定される。江戸時代には、徳川氏の領地となり、村の入会地（共有地）などとして利用され、「城山（じょうやま）」という地名とともに、今日まで保存されてきた。



○榎下城跡 所在地：横浜市緑区三保町、旧城寺

榎下城は、上杉憲清が築いたと伝えられ、上杉憲清の子憲直が永享の乱（1438）に足利持氏に加担し、敗れて金沢称名寺で自決して以来、城主については不明ですが、小田原北条氏の時代にも小机衆の拠る小机城に対して出城の役目を果たしていたとも考えられます。